

# 平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年 月 日記入

基本目標	ゆとりある みどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	25120
政策名(章)	第5章 基地全面返還の実現をめざします	評価担当部	企画部
基本施策名(節名)	第1節 基地の早期返還と市民のための跡地利用の実現	評価担当課	渉外課
施策名	計画的な跡地利用	課長名	小林 茂

## 1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

キャンプ淵野辺返還跡地の留保地については、周辺環境との調和を図りつつ、市民優先の跡地利用を促進するとともに、その他の市内米軍基地の跡地利用についても調整をはかり、着実な返還運動の取り組みを行っていく。留保地17.5ヘクタールの内、1ヘクタールは市立博物館として処分済みだが、他の16.5ヘクタールについては、未処分であり、平成20年度を目標に利用計画を策定する予定である。  
また、市民主体の跡地利用を推進するため、返還財産処分方針の改善要請も行っていく。

## 2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		17,519,268	再掲
人件費		52,325	
市民一人あたりの事業費	16,673	26,344	
合計	10,270,816	17,571,593	

\*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

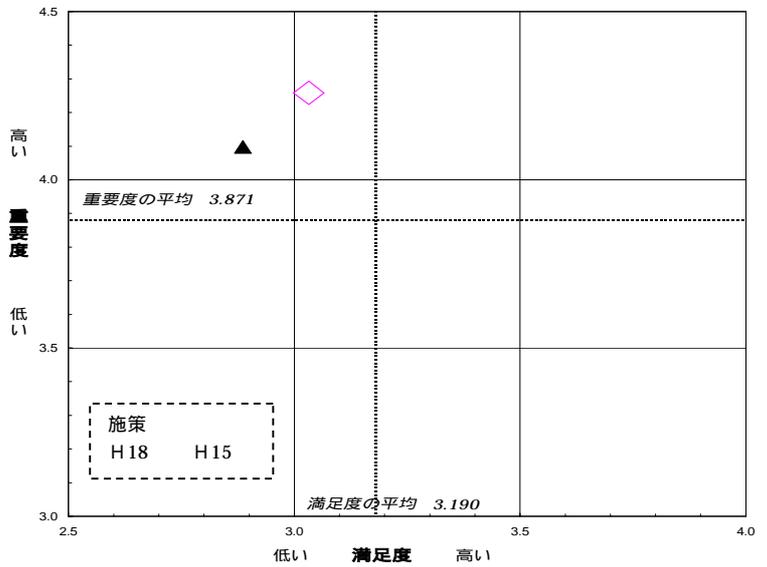
## 3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	留保地の処分率 処分用地 ÷ 留保地全体面積 × 100	留保地全体面積(17.5ヘクタール)に対して、処分された面積の比率	6(%)	14
指標2				
指標3				
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	6 / 6	20	6	25	100	国の留保地処分の最終年限が、概ね平成25年度であることから、その年度には処分されていることを目標とする。
達成率	100%					
指標2						
達成率	#DIV/0!%					
指標3						
達成率	#DIV/0!%					
指標4						
達成率	#DIV/0!%					
指標5						
達成率	#DIV/0!%					

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.032で51施策の中で47番目。  
 重要度は4.258で6番目である。  
 改善要望度は0.3853で4番目である。  
 年齢別にみると、満足度は70歳以上でもっとも高く、20歳代でもっとも低くなっている。  
 重要度は70歳以上でもっとも高く、40歳代以下で低くなっている。  
 前回調査と比較すると、満足度は施策の順位に大きな違いはみられないが、重要度は大幅に上がっている。  
 満足度の順位では、40歳代で前回調査より大幅に上がっている。  
 重要度の順位では、50歳代、70歳以上で前回調査より大幅に上がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 1	指標1の達成率は100%である。	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	2 1	基準年度と比較して、事業コストは削減されている。	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 1	重要度が6番目と高く、満足度は47番目と低い。	
合計		8	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 B

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	市民満足度の向上が課題となる。
解決策	平成25年度の目標に向けて、市民満足度の高い留保地の利用計画を策定する。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

短期間で成果を表すことのできる指標の設定が難しい施策であるが、今後、施策目的に適合した指標の設定を検討する必要がある。	2次評価 B
---	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向



